

磐梯山の火山活動解説資料（平成 24 年 3 月）

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 21 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2～3）

剣ヶ峰（山頂の北約 7 km）に設置してある遠望カメラでは、山体北側火口壁からの噴気の高さは 100m 以下で噴気活動は低調な状態が続いています。

・地震や微動の発生状況（図 4～5）

火山性地震は少ない状況が続いています。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 6～7）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

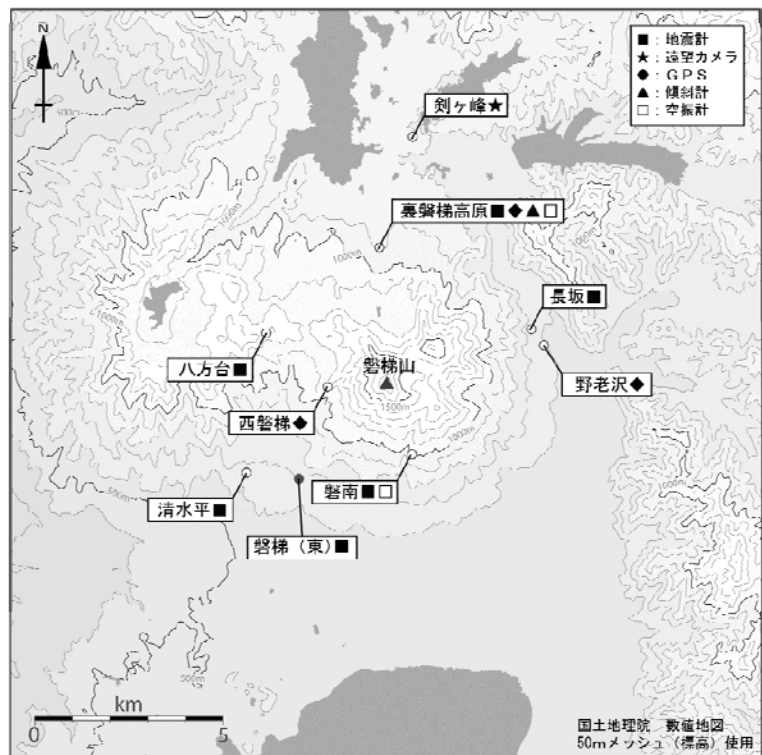


図 1 磐梯山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東）：東北大学

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 24 年 4 月分）は平成 24 年 5 月 10 日に発表する予定です。

※この資料は、気象庁のデータの他、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。



図 2 磐梯山 山体北側火口壁の噴気の状況（3 月 9 日 01 時 40 分頃）
 剣ヶ峰（山頂の北約 7 km）に設置してある遠望カメラによる。
 実線赤丸で囲んだのが、山体北側火口壁からの白色噴気で高さは 100m。



図 3 磐梯山 月最大噴気高（1996 年 4 月～2012 年 3 月）
 2002 年 2 月以前は定時(09 時、15 時)及び随時観測による高さです。
 2002 年 2 月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。

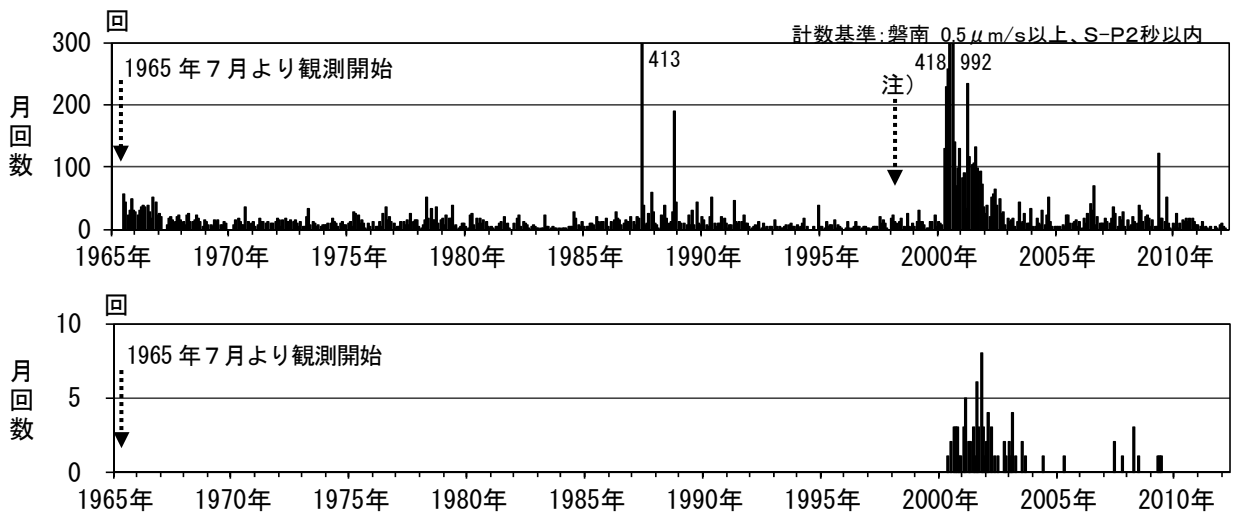


図 4※ 磐梯山 上段：月別地震回数(1965 年 7 月～2012 年 3 月)

下段：月別微動回数(1965 年 7 月～2012 年 3 月)

注) 1998 年より計数基準を S-P 5 秒以下から S-P 2 秒以下に変更しました。

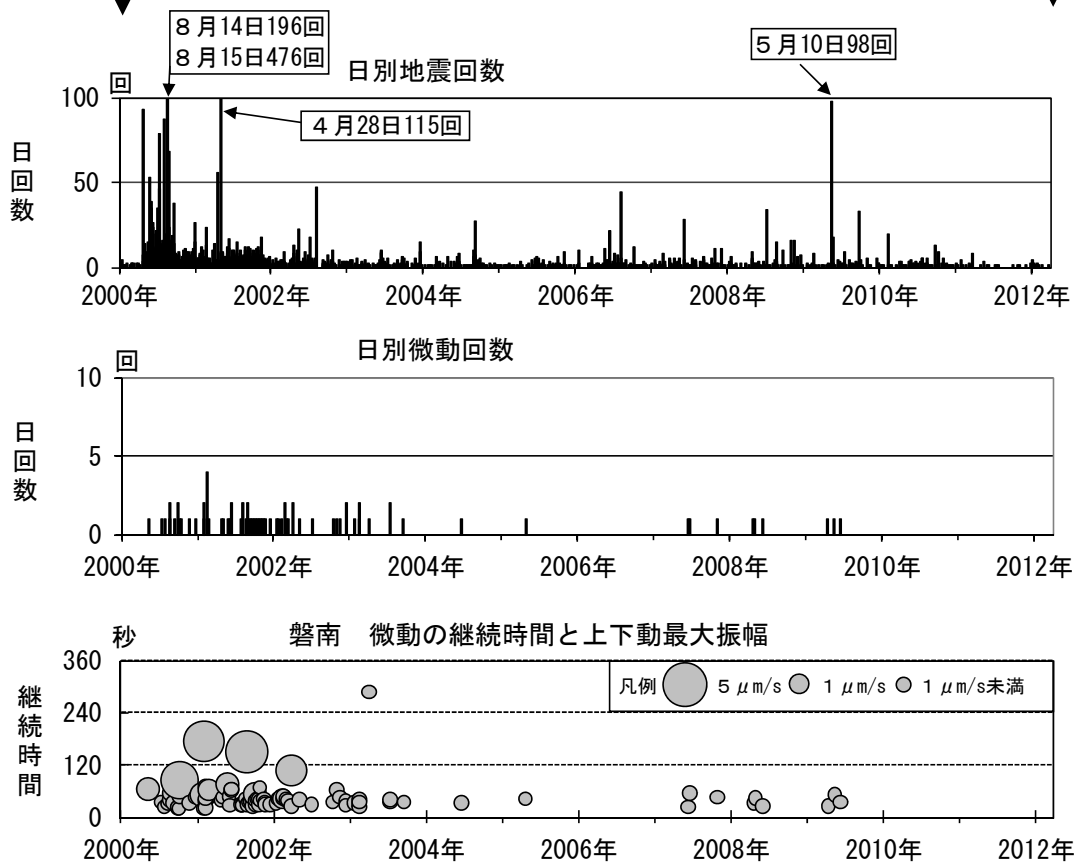


図 5※ 磐梯山 最近の地震と微動の活動経過図（2000 年 1 月～2012 年 3 月）

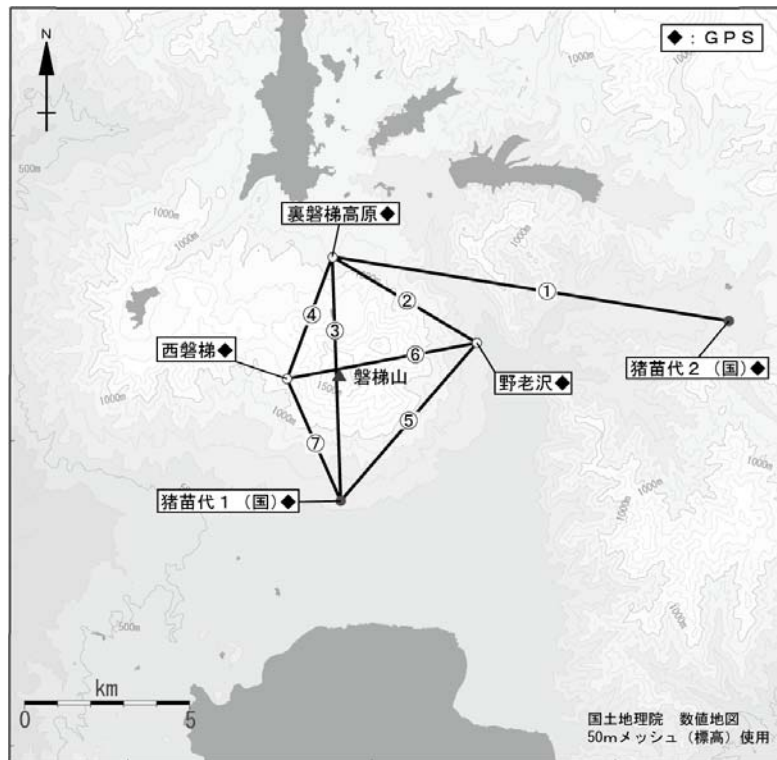


図 6 磐梯山 GPS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。（国）：国土地理院
GPS 基線①～⑦は図 7 の①～⑦に対応しています。

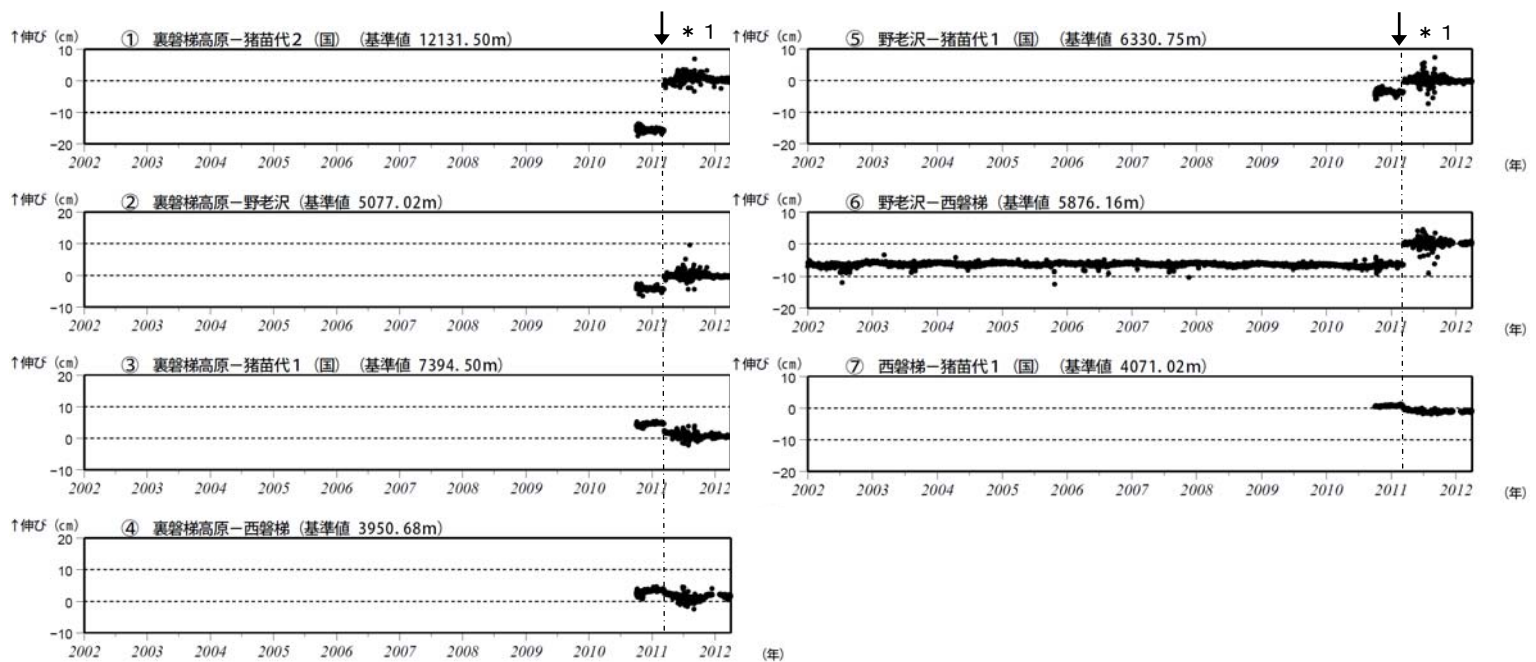


図 7※ 磐梯山 GPS 基線長変化図（2002 年 1 月～2012 年 3 月）

2010 年 10 月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。

①～⑦は図 6 の GPS 基線①～⑦に対応しています。

グラフの空白部分は欠測を表しています。

* 1：2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響による